

劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

自己点検報告書

(平成30・31年度 2か年分)

団 体 名	公益財団法人神奈川芸術文化財団
施 設 名	神奈川県立県民ホール (本館・KAAT 神奈川芸術劇場)
助 成 対 象 活 動 名	神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業
助 成 期 間	3 (年間)
内 定 額	平成30年度 60,755 平成31年度 56,527 (千円)

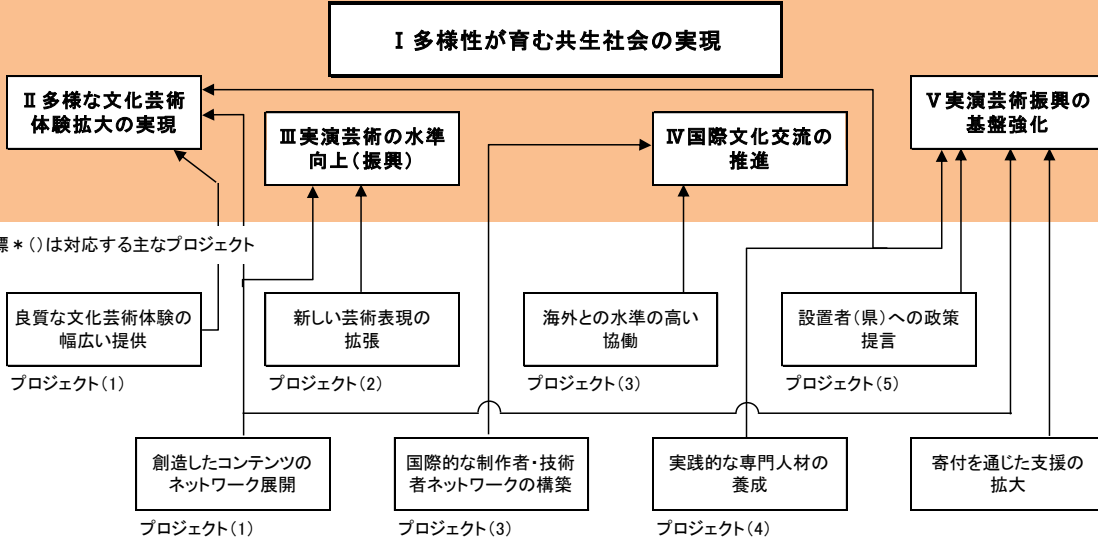
1. 事業概要

(1) 事業計画の概要

全体図（概念図）

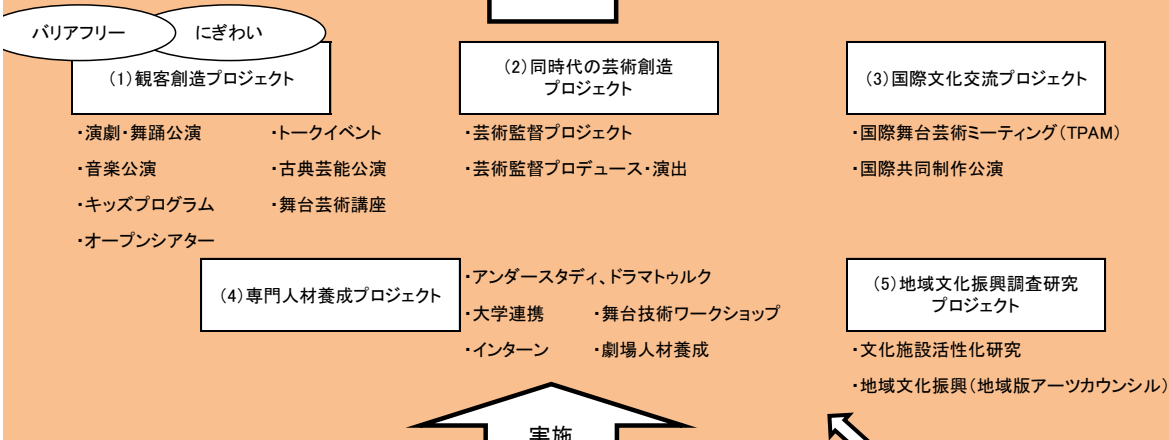
（事業名） **神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業** （※旧事業から継続3年目／5年採択）

○アウトカム

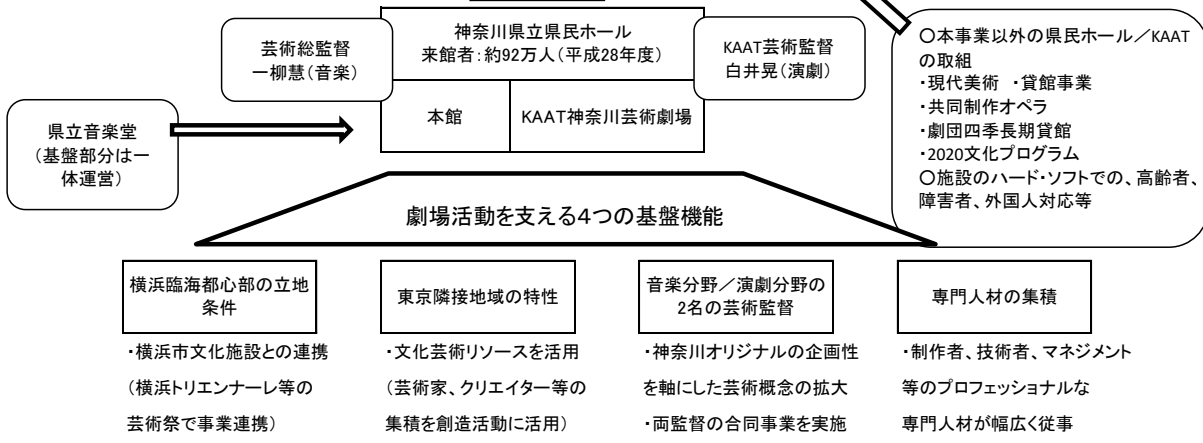


○目標* ()は対応する主なプロジェクト

○プロジェクト(主な事業類型の例)



○事業実施を支える機能等



(2) 平成31年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「常陸坊海尊」	2019年12月11日～22日	「常陸坊海尊」 出演 白石加代子 中村ゆり 平埜生成 尾上寛之 他 演出 長塚圭史	目標値	7,000
		芸術劇場 ホール		実績値	5,272
2	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・プロムナードコンサート ②オルガン3館連携事業	2019年4月～2月	①オルガン・プロムナードコンサート 出演：内藤光音、アマンダ・モール ②オルガン三館連携事業 出演：荻野由美子	目標値	2,600
		県民ホール小ホール		実績値	2,027
3	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・リサイタルシリーズ ②クリスマスコンサート	①2019年7月13日 ②2019年12月20日	①オルガン・リサイタルシリーズ 出演：三浦はつみ ②クリスマスコンサート 出演：荻野由美子	目標値	560
		県民ホール小ホール		実績値	488
4	I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラコンサート2019	2019年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート 2019 出演：松尾葉子 (指揮) 宮本益光 (司会・バリトン) 幸田浩子 (ソプラノ) 他	目標値	1,911
		県民ホール大ホール		実績値	2,152
5	I 観客創造プロジェクト 横浜バレエ・フェスティバル 2019	2019年8月3日	横浜バレエ・フェスティバル 2019 出演：小池ミモザ、菅井円加、 平田桃子、津川友利恵、エドワール・ユ 他	目標値	1,700
		県民ホール大ホール		実績値	1,574
6	I 観客創造プロジェクト 松山バレエ団「新・白鳥の湖」	2019年3月20日	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止	目標値	1,686
		県民ホール大ホール		実績値	—
7	I 観客創造プロジェクト 地域巡回公演 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」	①2019年8月4日 ②2019年8月10日	オペラ「ヘンゼルとグレーテル」日本語上演 出演：宮本益光 (バリトン)、鶴木絵里 (ソプラノ)、青木エマ (ソプラノ)、 岡本知高 (ソプラニスタ)	目標値	840
		①南足利市文化会館 ②秦野市文化会館		実績値	1,165
8	I 観客創造プロジェクト オープンシアター2019 ①『白鳥の湖』 ②ワンコイン・コンサート	2019年6月2日	①子どものためのバレエ 「白鳥の湖」 ②ワンコインコンサート オルガンと声楽	目標値	3,926
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	2,847
9	I 観客創造プロジェクト KAAT キッズ・プログラム 2019 「ルー」	2019年7月28日、29日	「ルー」出演・スタッフ等： PONTEN PIA (スペイン、バレンシア地方)	目標値	330
		芸術劇場大スタジオ		実績値	319
10	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座 (巡回) ②オペラ講座 ③オルガン講座④チェンバロ講座	2019年9月～2020年3月	①オペラ講座「カルメン」の魅力 ②オペラ講座「カルメン」の魅力 ③オルガン講座「フーガの技法」 ④チェンバロの魅力 ③の2回目と④は中止	目標値	1,578
		①杜のホールはしもと ②県民ホール 小ホール		実績値	900

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
11	I 観客創造プロジェクト 芸術監督アーティスト・トーク	2019年6月1日・11月9日	「SHIRAI'S CAFE」 出演：白井晃 ゲスト：曾我大穂、和田永	目標値	300
		芸術劇場アトリウム		実績値	300
12	I 観客創造プロジェクト 音声ガイドを取り込んだ ダンスのワークインプログレス	2019年6月～8月	振子びじん、大崎清夏、 視覚障害者2名	目標値	180
		芸術劇場大スタジオ		実績値	180
13	II 同時代の芸術創造プロジェクト 一柳慧プロデュース フラックス弦楽四重奏団	2020年1月11日、18日	出演：フラックス弦楽四重奏団 エリザベス・オゴネク 公開リハーサル、 ワークインプログレス	目標値	400
		県民ホール小ホール		実績値	397
14	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「恐るべき子供たち」	2019年5月18日～6月2日	「恐るべき子供たち」 出演：白井晃 出演：南沢奈央、柗木玲弥 ほか	目標値	2,300
		芸術劇場大スタジオ		実績値	2,695
15	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「シベリアへ！シベリアへ！ シベリアへ！」	2019年5月～7月	KAAT X 地点 出演：三浦其 出演：地点	目標値	980
		芸術劇場中スタジオ		実績値	1,211
16	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「ビビを見た！」	2019年7月4日～15日	台本・演出：松井周 出演：岡山天音、石橋静河、 樹里咲穂 久ヶ沢徹、瑛蓮、師岡広明 ほか	目標値	1,700
		芸術劇場大スタジオ		実績値	2,000
17	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「NIPPON・CHA!CHA!CHA!」	2020年1月10日～19日	「ダンス版」「演劇版」 演出・振付：山田うん	目標値	650
		芸術劇場大スタジオ		実績値	1,325
18	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「アルトゥロ・ウイの興隆」	2020年1月11日～2月2日	演出：白井晃 出演：草薨剛、松尾諭、渡部豪太 中山祐一朗、細見大輔 ほか	目標値	9,750
		芸術劇場ホール		実績値	26,532
19	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「ゴドーを待ちながら」	2019年6月12日～23日	作：サミュエル・ベケット 演出：多田淳之介	目標値	2,300
		芸術劇場大スタジオ		実績値	2,425
20	III 国際文化交流プロジェクト 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	2020年2月8日～16日	Fieldworks 「nothing's for something」 エコ・スプリヤント 「イブイブ・ベルー：国境の身体」 他	目標値	2,000
		芸術劇場 他		実績値	2,000
21	IV 専門人材養成プロジェクト 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト 養成事業	2019年5月～10月	・若手ダンサー養成プログラム ・若手演奏家推薦プログラム ・オーディション事業 ・アンダースタディ	目標値	40
		県民ホール 他		実績値	40

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
22	IV専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネージメント プロフェッショナル人材養成講座	主な実施会場	演劇人養成プログラム	目標値	80
		県民ホール 他		実績値	80
23	IV専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作 (音楽、演劇)、舞台技術)	2019年7月～2020年3月	・公演制作(音楽) ・公演制作(演劇)中止 ・舞台美術 中止	目標値	15
		県民ホール 芸術劇場		実績値	2
24	IV専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(東京音楽大学他)	2019年10月～2020年2月	講師 武石みどり、赤江直美、 鳥越彩	目標値	30
		県民ホール		実績値	17
25	IV専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(昭和音楽大学)	2019年11月～12月	講師:石田朝子 仁科岡彦 赤江直美、鳥越彩	目標値	140
		昭和女子大学		実績値	60
26	IV専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2019年4月～5月	演劇人養成プログラム	目標値	1
		芸術劇場		実績値	1
27	V地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設(県民ホール、KAAT) 活性化計画プログラム (行動案作成)	2020年1月～3月	有識者研究会の開催	目標値	20
		県民ホール 他		実績値	42

(3) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース 「セールスマンの死」	2018年11月3日～18日	「セールスマンの死」 出演：風間杜夫、片平なぎさ、 山内圭哉、菅原永二 演出：長塚圭史	目標値	6,750
		芸術劇場 ホール		実績値	5,925
2	I 観客創造プロジェクト まつもと市民芸術館連携企画 串田和美「新作」	2019年1月26日～2月3日	「Mann ist Mann (マン・イスト・マン)」 出演：海老澤健次、大鶴佐助、 小椋毅 近藤隼、安蘭けい、 串田和美 脚色・演出：串田和美 企画監修：白井晃	目標値	600
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,262
3	I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラコンサート 2018	2018年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート2018 出演：松尾葉子(指揮)宮本益光(司 会・バリトン)嘉目真木子(ソプラ ノ)澤原行正(テノール) 上野水香、柄本弾(バレエ)	目標値	1,889
		県民ホール 大ホール		実績値	1,898
4	I 観客創造プロジェクト パイプオルガン・プロジェクト ①オルガン・リサイタルシリーズ ②クリスマスコンサート	①2018年9月22日 ②2018年12月23日	① オルガン・リサイタルシリーズ 出演：近藤岳 ② オルガン・クリスマスコンサート 出演：エルワン・ル・プラド、 青木早希	目標値	520
		県民ホール 小ホール		実績値	616
5	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・プロムナードコンサート ②オルガン3館連携事業	①2018年4～3月 ②2018年10月26日	① オルガン・プロムナードコンサート 出演：小田龍一郎、田宮亮 ② オルガン3館連携事業 出演：大木 麻理、イオ・パヴェ ル	目標値	2,600
		県民ホール 小ホール		実績値	3,036
6	I 観客創造プロジェクト 木ノ下歌舞伎 「摂州合邦辻」	2019年3月14日～17日	木ノ下歌舞伎「摂州合邦辻」 監修・補綴・上演台本：木ノ下裕一 上演台本・演出・音楽：糸井幸之介 出演：内田慈、田川隼嗣、土居志央 梨、大石将弘	目標値	1,160
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,067
7	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 横浜バレエ・フェスティバル 2018	2018年7月21日	横浜バレエ・フェスティバル2018 出演：小池ミモザ、菅井円加、 近藤亜香&チェンウ・グオ	目標値	1,700
		県民ホール 大ホール		実績値	1,574
8	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 「プティバ生誕200年記念ガラ」	2018年9月1日	東京バレエ団<プティバ・ガラ> 芸術監督：斎藤友佳理 出演：柿崎佑奈、ブラウリオ・アル バレス ほか	目標値	1,831
		県民ホール 大ホール		実績値	1,680
9	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 上野水香プロデュース 「ジュエルズ・フロム・ミズカII」	2018年11月17日	「Jewels from MIZUKA II」 出演：上野水香、マルセロ・ゴメ ス、柄本弾他	目標値	1,519
		県民ホール 大ホール		実績値	1,652
10	I 観客創造プロジェクト オープンシアター2018 ①『ヘンゼルとグレーテル』 ②ワンコイン・コンサート	2018年6月3日	①オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 指揮：沖澤のどか 演出：田尾下哲 ②ワンコイン・コンサート「オルガ ンとヴァイオリンフランス・パリで の出会い」	目標値	3,105
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	2,505

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
11	I 観客創造プロジェクト キッズプログラム 2018 「NEW OWNER」	2018年8月4日・5日	「ニュー オーナー -幸せを探して- NEW OWNER」 出演者・スタッフ等:ザ・ラスト・グ レート・ハント	目標値	480
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	263
12	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座 ②チェンバロ講座	①2018年9月29日 ②2019年3月27日	①舞台芸術講座オペラ「アイダ」の魅力 講師:青島広志 ②舞台芸術講座 チェンバロの魅力VI 講師:大塚直哉	目標値	640
		県民ホール 小ホール		実績値	743
13	I 観客創造プロジェクト 芸術監督アーティスト・トーク	2018年6月2日、 2018年11月17日	「SHIRAI's CAFE」 出演:白井晃 ゲスト:朝比奈尚行、阿部海太郎	目標値	400
		芸術劇場 アトリウム		実績値	300
14	I 観客創造プロジェクト 音声ガイドを取り込んだ ダンスのワークインプログレス	2018年5~9月	講師:平塚千穂子、牧原依里、岡野宏 治、細馬宏通 出演:鈴木光裕、松沼雅之、 振子ぴじん、田中みゆき	目標値	200
		芸術劇場		実績値	216
15	II 同時代の芸術創造プロジェクト 芸術監督プロジェクト	2019年3月9日、10日	「Memory of Zero」 音楽監修:一柳 慧 構成演出:白井 晃 振付:遠藤康行 出演:小池ミモザ、鳥居かほり、高岸 直樹、引間文佳、遠藤康行 他	目標値	560
		県民ホール 大ホール		実績値	765
16	II 同時代の芸術創造プロジェクト 華氏451度	2018年9月28日 ~10月14日	「華氏451度」 演出:白井晃 上演台本:長塚圭史 出演:吉沢悠、美波、吹越満 他	目標値	7,000
		芸術劇場 ホール		実績値	5,829
17	II 同時代の芸術創造プロジェクト サンプル「グッド・デス・バイブレ ーション考」	2018年5月5日~15日	「グッド・デス・バイブレーション考」 作・演出:松井周 出演:戸川純、 野津あおい、稲継美保、板橋駿谷、 椎橋綾那、松井周	目標値	1,400
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,724
18	II 同時代の芸術創造プロジェクト KAAT×地点 「山山」	2018年6月6日~16日	KAAT×地点「山山」 出演:地点	目標値	980
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,190
19	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「オイディプス REXXX」	2018年12月12日~24日	「オイディプス REXXX」 演出:杉原邦生 出演:中村橋之助、南果歩、宮崎吐夢	目標値	1,400
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,454
20	III 国際文化交流プロジェクト KAAT ダンスシリーズ 2018 バレエ・ロレーヌ トリプルビル	2018年9月16日~17日	KAAT ダンスシリーズ 2018 バレエ・ロレーヌ公演 出演:バレエ・ロレーヌ	目標値	700
		芸術劇場 ホール		実績値	1,329
21	III 国際文化交流プロジェクト KAAT ダンスシリーズ 2018 Mathurin Bolze ダブルビル	2018年9月22日~24日	KAAT ダンスシリーズ 2018 マチュラン・ボルズ公演 出演:Mathurin Bolze	目標値	210
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	448

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
22	Ⅲ国際文化交流プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『出口なし』	2019年1月25日～2月3日	「出口なし」 構成・演出：白井晃 出演：首藤康之、中村恩恵、 秋山菜津子、白井晃	目標値	1,100
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,293
23	Ⅲ国際文化交流プロジェクト 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in yokohama)	2019年2月9日～17日	ホセ・マセダ「カセット100」 「5台のピアノのための音楽/ 2台のピアノと4本の管楽器」 イルワン・アーメット「暴力の星座」 他	目標値	2,000
		芸術劇場 他		実績値	2,919
24	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネージメント プロフェ ッショナル人材養成講座	2018年7月～2019年3月	シリーズ「これからのインクルーシブ 社会と公立文化施設の取り組み」/ シリーズ「基本を学びなおす」	目標値	80
		県民ホール他		実績値	92
25	Ⅳ専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作 (音楽、演劇)、舞台技術	2018年9月～2019年3月	・公演制作(音楽) ・公演制作(演劇) ・舞台技術	目標値	15
		県民ホール・芸術劇場		実績値	12
26	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト 養成事業	2018年5月～2019年3月	・若手ダンサー育成プログラム ジュヌバレー YOKOHAMA ・若手演奏家推薦プログラム ・オーディション事業	目標値	40
		県民ホール他		実績値	26
27	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 演劇人養成プログラム	2019年3月	演劇人養成プログラム	目標値	5
		芸術劇場		実績値	1
28	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(東京藝術大学、 洗足学園音楽大学他)	2018年5月～2019年2月	講師：荻野由美子	目標値	10
		県民ホール 小ホール		実績値	1
29	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学との連携(横浜国立大学)	2018年11月～2019年2月	講師：清水宏、安藤洋子、吉井澄雄 他	目標値	30
		芸術劇場、横浜国立大学		実績値	58
30	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(昭和音楽大学： 正規カリキュラムの寄付講座)	2018年11月～2019年1月	講師：県民ホール・芸術劇場職員	目標値	5
		昭和音楽大学、 県民ホール、芸術劇場		実績値	20
31	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2018年12月～2019年2月	まつもと市民芸術館スタッフ	目標値	1
		芸術劇場		実績値	1
32	Ⅴ地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設(県民ホール、KAAT) 活性化計画プログラム	2018年5月～10月	有識者研究会の開催	目標値	20
		県民ホール 他		実績値	110

2. 自己評価

(1) 妥当性 (平成30・31年度 2か年分)

自己評価						
事業計画に必要な構成要素が有機的に関連し、当初の予定通りに事業が進められているか。						
「アウトカム」の発現に向けた「目標」を立て、その「目標」を達成するアクションプランとして「プロジェクト」を配置した。						
(1) 本事業計画が発現させたい5つの「アウトカム」						
I 多様性が育む共生社会の実現		IV 国際文化交流の推進				
II 多様な文化芸術体験拡大の実現		V 実演芸術振興の基盤強化				
III 実演芸術の水準向上 (振興)						
(2) 「アウトカム」を発現させるための8つの「目標」と5つの「プロジェクト」との関係性						
※1: 「アウトカム」と「目標」の関係は◎で示したが、○=Iのアウトカムは、IIからVのアウトカムが総合的に達成されることにより実現される。						
※2: 「◎寄付を通じた支援の拡大」は、劇場の個別プロジェクトが達成するのではなく、劇場運営者の法人が達成すべきこととして整理している。						
※3: この関連に齟齬は生じていない。計画通りに進んでいる。						
アウトカムの発現と関係性 ※1					目標	目標を達成するためのプロジェクト
I	II	III	IV	V		
○	◎			◎	①良質な文化芸術体験の幅広い提供	← (1) 観客創造プロジェクト
○	◎	◎		◎	②創造したコンテンツのネットワーク展開	
○		◎			③新しい芸術表現の拡張	← (2) 同時代の芸術創造プロジェクト
○			◎		④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築	← (3) 国際文化交流プロジェクト
○			◎		⑤海外との水準の高い協働	
○	◎			◎	⑥実践的な専門人材の養成	← (4) 専門人材養成プロジェクト
○				◎	⑦設置者 (県) への政策提言	← (5) 地域文化振興調査研究プロジェクト
○				◎	⑧寄付を通じた支援の拡大	※2

自己評価

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

○基本姿勢

- ・県からの指定管理料だけでは従来型の県域の文化施設としての基本活動しかできない。当事業の補助金が出なかったならば、県域を越えた広域拠点としての役割は果たせなかった。
- ・つまり、補助金があることで、県内外へのツアー公演や他劇場との人材交流などの県境を越えた波及活動を充実させることや、芸術表現を追求する新作創造などに資金を充当することが可能になった。特に、創造活動や先進的な活動には「時間」「人材」「資金」が必要であり、補助金があればそれらの拡充は望めなかった。
- ・他方、科学技術の先端研究の分野と同様に、劇場をとりまく外部環境は変化し続けるため（社会課題への対応、映像技術の進化、オリパラ文化プログラム、感染症のパンデミックなど）、優れたコンテンツ（公演、人材養成、普及等のプログラム）や新しい鑑賞手法を追求し続ける必要があり、そのためにも継続的な助成が効果的である。

○「波及活動」の成果の例

・平成 30 年度分

県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地（19 自治体）：大和市、鎌倉市、相模原市、世田谷区、西宮市、松本市、大津市、山口市、北九州市、久留米市、福岡市、益田市、長野市、江戸川区、京都市、水戸市、豊橋市、熊本市、東海市（順不同）

・平成 31 年度分

県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地（23 自治体）：名古屋市、札幌市、高松市、前橋市、福島市、静岡市、東広島市、西宮市、水戸市、つくば市、長野市、京都市、神戸市、久留米市、高知市、北九州市、豊橋市、盛岡市、新潟市、鎌倉市、横須賀市、綾瀬市、世田谷区（順不同）

○新作創造や独自招聘などの成果の例ー地域の拠点施設としての使命（創作演目）

・平成 30 年度分

芸術監督プロジェクト「Memory of Zero」、みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、「上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II」、「バリーターク」、「華氏 451 度」、「グッド・デス・バイブレーション考」、地点「山山」、北村明子 Cross Transit project「土の脈」、「セールスマンの死」、「Is it worth to save us?」、さわひらき×島地保武「silts-シルツ-」、「オイディプス REXXX」、冬のカーニバル「Mann ist Mann（マン・イスト・マン）」、木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」、「WAITING FOR THE SIGNAL!（信号待ち!）」、「グレーテルとヘンゼル」（共同制作含む）

・平成 31 年度分

ー柳慧プロデュース「フラックス弦楽四重奏団」、「やなぎみわ展 神話機械」、「みんなでたのしむオペラ『ヘンゼルとグレーテル』」県域再演、「春のめざめ」再演、「恐るべき子供たち」、「怪人と探偵」、「アルトゥロ・ウイの興隆」、「Naked Theatre -裸の劇場-」、「シベリアへ！シベリアへ！シベリアへ！」、「ゴドーを待ちながら」、「ビビを見た！」、「頭と口×Defracto「妖怪ケマメ」、「ドクター・ホフマンのサナトリウム ～カフカ第4の長編～」、「グリークス」、「常陸坊海尊」、「NIPPON・CHA!CHA!CHA!」、キッズプログラム「グレーテルとヘンゼル」再演、キッズプログラム「二分間の冒険」、「VORTEX」、「ワーニャ伯父さん」、「最貧前線」（共同制作含む）

(2) 有効性 (平成30・31年度 2か年分)

自己評価

目標が達成し、アウトカムの発現は可能か。

「アウトカム」を発現させるため、以下①から⑧まで8つの「目標」を置き、その目標達成を助成対象事業（5つのプロジェクト）で達成することとした。その目標達成の進捗を以下の指標で確認した結果、下記のように有効であったと考える。

①良質な文化芸術体験の幅広い提供

指標 a：英語版ホームページの年間ページビュー数

指標 b：子ども向けチケット販売数

平成30年度

・ a は目標を達成したが、b は新演出や新作が多かったことなど若干親しみやすさを欠いたのか未達成となった。他方、補助対象外ではあるが共生社会をテーマにした事業を開始するなど体験機会の拡大に努めている。

平成31年度

・ 昨年度の実績を a は上回ったが、b は下回った。子どもの来場を多く見込んでいたオープンシアターと小学校行事の重複による集客減、新型コロナの影響による大ホールバレエ公演の中止などが影響したと思われる。

②創造したコンテンツのネットワーク展開

指標 c：当劇場で創造した演目が他の劇場・音楽堂等で上演された演目数

平成30年度・31年度ともに目標を達成した。

③新しい芸術表現の拡張

指標 d：芸術監督が主導して実施したプログラム数

平成30年度・31年度ともに目標を達成した。

・ その成果を元に、5年間の集大成となる芸術監督プロジェクト（オペラ「モモ」）を2021年3月に上演予定。

④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築

指標 e：国際舞台芸術ミーティング in 横浜（TPAM）の参加国数及び海外参加者数

平成30年度・31年度ともに目標を達成した。

⑤海外との水準の高い協働

指標 f：海外の劇場・実演団体等との国際共同制作及び直接招聘の演目数

平成30年度・31年度ともに目標を達成した。

⑥実践的な専門人材の養成

指標 g：新人・若手実演家の登用人数

指標 h：若手中堅クリエイターとの協働による作品づくりの件数

平成30年度

・ g、hともに目標を達成した。

平成31年度

- ・ g は目標未達成。h は目標を達成した。

指標 i : 他劇場等からの職員研修受入 (1 ヶ月以上)

平成 30 年度・31 年度ともに目標を達成しなかった。

- ・ 共同制作に従事する長期的な制作上の交流はあったが、1 ヶ月以上の長期研修受入という枠では未達成となった。
- ・ 研修期間の長短は、研修へ送り出す劇場側の事情にもよるため、1 ヶ月という指標設定が適切かは今後の検討としたい。

⑦設置者(県)への政策提言

指標 j : 県への提言文書提出数

平成 30 年度・31 年度ともに目標を達成した。

平成 30 年度

- ・ 県の文化振興計画の改定に際して、地域の芸術団体等とも連携を図り、提言を提出した。

平成 31 年度

- ・ 県の指定管理者制度について、大規模文化施設の現指定管理者という立場から、現状を踏まえた提言を提出した。

⑧寄付を通じた支援の拡大

指標 k : 寄附者数及びその寄附金額

平成 30 年度・31 年度ともに目標を達成しなかった。

- ・ クレジットカード決済による個人寄付の仕組みを導入するなど環境整備に努め、実際に少額の個人寄付は年々増加する傾向にあるが、金額・寄附者数ともに目標に到達しなかった。

(3) 効率性 (平成30・31年度 2か年分)

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

(1) 事業期間

本事業の応募時点で、既採択であった劇場・音楽堂等活性化事業（特別支援）の採択期間との整合に鑑み、平成30年度からの3カ年の事業計画として計画工程表を作成した。

5つのプロジェクトの平成30年度の進捗状況を整理する。

- (1) 観客創造プロジェクト →計画通りに実施した
- (2) 同時代の芸術創造プロジェクト →計画通りに実施した
- (3) 国際文化交流プロジェクト →計画通りに実施した
- (4) 専門人材養成プロジェクト →計画通りに実施した
- (5) 地域文化振興調査研究プロジェクト →計画通りに実施した

※年度末までの期間で、変更申請を要する事業変更は生じなかった。

(2) 事業費 (助成対象事業の支出)

平成30年度

当初 支出 375,309 千円、決算 支出 314,857 千円、予算決算差異 60,452 千円 (16.1%)

主な変動の要因として、文芸費等の増 (9,328 千円)、委託費の減 (52,253 千円) があった。

委託費の減の理由は、主に経費節減の努力 (※) による。

※価格競争を重視した調達手法による縮減効果や、好調なチケット販売に起因する広告宣伝費の減など

平成31年度

当初 支出 348,404 千円、決算 支出 411,044 千円、予算決算差異 62,640 千円 (18.0%)

主な変動の要因として、製作作業を進めていくなかで、「アルトゥロ・ウイの興隆」が当初計画を上回る事業規模・回数となるなどがあり、大きな委託費の増 (80,629 千円) があった。他方、入場料等収入の増 (175,403 千円) もあった。

ほかに、文芸費等の減 (2,848 千円)、会場費等の増 (8,843 千円)、宣伝費等の減 (18,051 千円) など。

(3) 評価

- ・事業計画は工程表通り適切に進捗している。
- ・事業費は経費節減に努めるとともに、公益法人の会計ルールに則って適正に執行されている。
- ・当財団は地方公共団体が100%出資する第3セクターであり、その行政管理の考え方のもと県に準じた透明性の高い基準で運営され、かつ公益法人としての会計基準等に従って運営されている。そのような性格を有する法人による劇場運営のもと、当初の計画に沿って、また必要に応じた手続きのもと計画を変更し、順調に事業を遂行している。

(4) 創造性 (平成30・31年度 2か年分)

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている(と認められる)か。

(1) 専門人材と機能のリソース

当劇場が創造性の発揮を可能とする人材面のリソースとして、芸術監督の存在がある。

財団の芸術総監督として日本を代表する作曲家である一柳慧(2018年文化勲章受章)、また芸術劇場では演出家・俳優として第一線で活躍する白井晃が芸術監督をつとめ、時代をリードするトップアーティストでもある両芸術監督の知見の下、創造性を発揮した事業群を展開している。

また、創作活動を技術面から統括する専門家である技術監督やプロダクション・マネージャーをはじめ、専門性の高い技術スタッフが職員として劇場に常駐するほか、設備面では自由度の高い舞台機構や客席設備を始め、稽古場、音響・大道具製作室等、アーティストやクリエイターの創作をサポートする環境が整っている。

これらの専門人材と機能のリソースを最大限に活用した企画を、県民ホールと芸術劇場の双方の施設特性を活かした事業として計画立案し、順調に実施することができた。

(2) 事業の創造性

公演事業では、平成28年度より実施してきた“芸術監督プロジェクト”として、30年度には“ダンス×音楽”をテーマに「Memory of Zero」を創作し初演した。一柳慧の音楽、白井晃の構成・演出、振付に遠藤康行、主演に小池ミモザ、演奏に板倉康明指揮の東京シンフォニエッタという世界的に活躍するスタッフ・出演者が、果敢に先進的な芸術表現に挑む上演となった。

その他、30年度は県民ホールと芸術劇場において、10作品以上の創作初演や新演出を実施するなど、年間を通じて様々な創造活動を行った。

ついで平成31年度は、オペラ「モモ」(一柳慧作曲、白井晃演出)の令和2年度上演(令和3年3月)に向けての制作準備作業を行った。一柳慧と白井晃は「愛の白夜」(県民ホールで平成18年、21年に上演)に次いでオペラでの共演は2回目となる。

人材養成事業においては、平成28年度より「劇場運営マネジメント プロフェッショナル人材養成講座」をスタートし、県内外の文化施設スタッフ等を対象に、社会課題を先取りするテーマの講座を実施している。特に施設のバリアフリーの諸課題に特化した講座シリーズは、受講者の期待度が高い。

普及啓発事業においては、鑑賞者拡大のための集客力のある公演事業の他に、「音で観るダンスのワークインプログレス」(視覚障害者に音声でダンスを鑑賞するツールを開発することを契機に、健常者もダンスを新しい観点から鑑賞することを提唱する手法の研究開発)を3年計画で実施するなど、先進性の高い取組みも行っている。



「Memory of Zero」2019年3月 県民ホール

自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

（１）国内での評価

前述の「Memory of Zero」についてはマスメディアの注目も高く様々な露出があったほか、劇団地点との共同制作「山山」では新作戯曲が岸田國士戯曲賞を、「オイディプス REXXX」では作詞・ラップ指導の板橋駿谷が読売演劇大賞（優秀スタッフ賞）を受賞するなど、社会的な評価も獲得した。他地域の劇場との関係として、芸術劇場のプロデュース作品は国内各地からの上演要請が多くあり、30年度は「不思議の国のアリス」（劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業）の他、「華氏 451 度」「セールスマンの死」等がツアー公演を実現した。31年度は「グレートとヘンゼル」「常陸坊海尊」（劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業）の他、「春のめざめ」「怪人と探偵」「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第 4 の長編～」等がツアー公演を実現した。これらのことなどにより、当劇場の創造性は社会に広く訴求できたと考えている。

（２）ステークホルダーや地域の期待への対応

そもそも県民ホールは 1975 年の開館以来、神奈川県を代表する大型文化施設として県民の方々に親しまれてきたホールであり、エポックメイキングな海外招聘のオペラ・バレエや有名アーティスト等の鑑賞会場としてだけでなく、大きな舞台面を生かした合唱、モダンバレエ、文化賞授賞式や広いギャラリーを使った県美術展など、県民による自主的な文化活動への参加の場であった。その基盤がある上に、補助金による創造活動や広域展開の充実が加わり、広域拠点としての活動の充実につながっている。

他方、2011 年に県民ホールと一体運営で設置された芸術劇場は、当初から劇場法の理念を体現するミッションを掲げた運営を目指してきたが、同様に補助金による創造活動や広域展開の充実が実現できたほか、プロフェッショナルな人材育成の場としての役割も広域的に果たすことができた。

その結果、ステークホルダーとの関係としては、設置者である神奈川県からは指定管理者モニタリング評価として最上位の S 評価（平成 29、30 年度）を受けているほか、指定管理の活動の成果や充実した機能・人材を生かして、指定管理とは別に、県域の文化資源等の調査業務や、共生社会の実現をテーマにした文化芸術の新しい取り組み「共生共創事業」を業務委託されるなど、県民ホール・芸術劇場に集積された機能を活用していくことを県も期待している。

また、施設が所在する横浜市とは、市が主催する大規模アートフェスティバル（ダンス、音楽、美術）に主体的に参画するなど協力関係にあるほか、近接する商業地区とは、チケット提示による割引特典などエリアの回遊性を高める取り組みを行っており、近隣地域の期待にも積極的に応えている。

横浜中華街と神奈川芸術劇場がタイアップ！
ご観劇の皆様にお得なサービスのご案内

We are Chinatown 横浜中華街
×
KAAT
タイアップチラシの例

KAAT 神奈川芸術劇場
2019.4.1

(5) 持続性 (平成30・31年度 2か年分)

自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する(と認められる)か。

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

持続的な活動を可能にし、劇場機能を強化していくために、以下の取り組みを総合的に行っている。

(1) 関係者ネットワークの強化

- ・毎年安定して新作公演をツアーや共同制作で各地へ巡回できる体制を整えることで、外部業者等に頼らない当団体独自の劇場間ネットワークを構築している。
- ・関係団体(県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会等)において中心的な役割を担うことで、作品の巡回だけでなく、運営ノウハウの共有や相互の人材交流などを積極的に行い、公演実施の質的な向上と連携関係の強化に繋げている。

(2) 財源の多様化による持続性の強化

- ・指定管理業務のほかに、県の文化芸術に関する委託事業を、劇場が有する専門機能を活用するスキームで受託することで、県の文化政策に積極的に参画している。
- ・ミュージカルのロングラン公演の貸館を誘致することで、利用料金収入の安定化を図るとともに、収益の一部を文化事業へ充当するほか、貸館来場者に向けてロビーを活用した広報を行うなど、効果的な劇場運営に努めている。
- ・寄付金集めの専従担当者を置き、県内の企業及び個人を中心に賛助会員組織を運営しているほか、インターネットを通じた小口寄付の仕組みを整備し、寄付者の拡大を図っている。(※)
※平成31年度は県立音楽堂開館65周年記念キャンペーンを実施。クラウドファンディング<すべての人のための音楽堂>にも取り組み、多くの方から寄附をいただいた。

(3) 評価と改善(PDCAサイクル)

- ・設置者(県)が行う専門家による外部評価のほか、法人独自の外部評価の仕組みを整備し、専門委員による視察と取りまとめを行っている。
- ・その上で、専門委員と劇場スタッフが出席する評価会議を開催し、課題抽出や評価手法の確認、前回会議からの業務改善課題の検証の等を行い、さらにその会議結果を次の業務改善につなげている。
- ・合わせて、評価会議で劇場・音楽堂等機能強化推進事業の採択や実施結果等についても報告し、その枠組みで期待されるアウトカムの発現等についても総合的な確認を行っている。
- ・他方、平成30年度には理事や外部委員と劇場スタッフによる劇場運営に関する検討会を設置して、将来の劇場運営についての理念やミッションを新たに策定し、理事会での決議のもと劇場スタッフの行動指針として共有した。
- ・評価会議の結果は、最終的に理事会へ報告することを義務付けており、トップマネジメントによる継続的な業務改善の取り組みとして定着している。

(4) 雇用

- ・トップマネジメントの強い指導のもと、「働き方改革」に向けた取り組みを開始し、ワークライフバランスの取れた労働環境の創出に努めている。

